ASAHI
GAWASOU
DAYORI

雪の朝。除雪、送迎に奮闘する真庭地域センターの職員ら（6面に関連記事）

旭川荘だより

vol. 198

2015.02.01 発行

CONTENTS

P2　合唱団が県PR動画に出演
P3　旭川荘医療福祉学会
P4-5　障害者の作品 街中へ
P7　レシピ　大豆入りじゃこ飯
P8　クリスマス行事いろいろ

発行／社会福祉法人　旭川荘
〒703-8555 岡山市北区祇園866
TEL 086-275-0131　FAX 086-275-5640
http://www.asahigawasou.or.jp

旭川児童院の成人式
（2面に関連記事）

旭川児童院など荘内施設で成人式

鏡割りをする新成人ら

旭川児童院の成人式が1月15日、同院多目的ホールで開催され、新成人2人の門出を祝いました。昨年、児童院と睦学園が統合してから初めての成人式となります。

成人式には、新成人とご家族をはじめ、利用者、ボランティア、来賓ら合わせて約80人が出席。はじめに楢原幸二院長が「おめでとうございます。これからもますます輝いてください」とあいさつ。岡山市成人式の実行委員を務めた新成人からもお祝いの言葉があり、市の担当者から「20歳のパスポート」が贈呈されました。その後、新成人と家族らで鏡割りを行い、参加者全員で乾杯。保護者を代表して西村幸代さんが「多くの方々の支えにより心も体も成長できたことが嬉しく幸せ。これからも充実した人生をわが子と一緒に歩んでいきます」と感謝と決意の言葉を述べました。

最後は、全日本エレクトーン指導者協会ヤマハJETの皆さんと児童院利用者による「ウイングバンド」が、新成人が誕生した20年前のヒット曲「イノセントワールド」を演奏。会場は大いに盛り上がりました。

児童院では、真庭市蒜山花園地区有志の皆さんが早朝から恒例の餅つきを実施。鴨方さつき会の皆さんが餅を丸めて紅白餅を作り、出席者に配布しました。成人式終了後、長年にわたりボランティアとして成人式を支える両団体に江草安彦名誉理事長から感謝状、児童院利用者から記念品が贈られました。鴨方さつき会の皆さんは昭和53年から活動に取り組んでおり、団体としての訪問は今回で最後となります。

感謝状を受け取る鴨方さつき会の代表

この他、たかはし松風寮（1月7日、新成人1人）、真庭地域センター（13日、1人）、みどりワークセンター（14日、2人）、いんべ通園センター（15日、1人）、せとうち旭川荘（15日、1人）、旭川学園（16日、1人）、ひらた旭川荘通園センター（21日、4人）で新成人を祝う行事を開催。2月25日には、みなみ愛媛通園センターで1人の成人をお祝いすることとなっています。

オペラ合唱団が岡山県PR動画に出演

3月のオペラ公演に向けて練習に励む旭川荘合唱団が、岡山県PRサイトに掲載されている県内27市町村のPRソングの1つ「岡山市のうた」の動画に出演しました。

PRソングは、元劇団四季メンバーで同サイトの「晴れ女」として活躍する合田友紀さんが企画。住民が1フレーズずつ歌い継ぐ動画を撮影しています。合田さんは昨春の「晴れの国音楽祭」でわかくさ学園と共演、ひらた旭川荘秋まつりに参加するなど旭川荘の利用者と交流を続けています。

収録後に全員で記念撮影

撮影は12月16日、オペラの練習前に行われました。最初は緊張していた合唱団メンバーでしたが、合田さんの上手な指導と日頃の練習のおかげですぐに本領発揮。体を左右に揺らしながら楽しく歌い、合田さんも驚くほどの出来映えであっという間に「OK」が出ました。

企画について説明する合田さん

「岡山市のうた」は、岡山県PRサイト「もんげー岡山」の「はれおんなchannel」に27市町村ムービーとして掲載されています。（http://8092-okayama.jp/hareonna_channel_movie）合唱団は最後の「伝説の～」というフレーズで登場しますが、これは合唱団の皆さんが各方面で活躍し、伝説を作ってほしいという合田さんの思いが込められているそうです。楽しい動画に仕上がっていますので、ぜひご覧ください。

旭川荘医療福祉学会
江利川元厚生労働事務次官が特別講演

特別講演で話す江利川氏

第32回旭川荘医療福祉学会が、1月22、23日に療育・医療センターの多目的ホールで開催されました。

この学会は旭川荘職員が日頃の研究成果を発表する場として毎年開催されており、研究助成の対象となる前田研究奨励賞の発表のほか、重症心身障害や発達障害、認知症など多様な分野にわたる51題の発表がありました。

また22日には、元内閣府および厚生労働省事務次官の江利川毅埼玉県立大学理事長を講師に、「人口問題と社会保障」をテーマとする特別講演が行われました。

江利川氏は「日本が直面する問題のうち最も深刻なのは人口問題であり、特に少子化問題の克服が絶対に必要である」と指摘。合計特殊出生率を引き上げるためには、社会全体の意識の改革をはじめ、女性が出産後に復帰できる雇用システムや男性の育児参加の促進、地方での若者の雇用の創出、教育の負担軽減など多様な対策が必要であるとしました。また高齢化については、「85歳以上人口が今後数十年は増加し続けることが大きな課題であり、若年高齢者の労働への参加や、健康寿命を伸ばす努力、高齢社会に合ったインフラ整備、さらには死生観についての議論などが求められる」と説明。「社会保障制度の費用も増大しており、重複受診などの無駄の排除や給付対象の再考といった努力が求められる」と話しました。

統計データや識者の意見を豊富に用いた江利川氏の明快な説明に、参加者たちは深くうなずきながら聞き入っていました。

多くの参加者が集まった講演会場

岡山県知事が療育・医療センター訪問

末光理事長から説明を受ける伊原木知事

旭川荘療育・医療センターの新棟の運営開始から1週間を経た12月24日、伊原木隆太岡山県知事が旭川荘で開催された県民との意見交換会に出席し、あわせて新棟を視察しました。

視察には県の保健福祉部長や障害福祉課長も同行。旭川荘の末光茂理事長、同センターの楢原幸二院長、片山雅博院長代理らが説明を行いました。岡山県地域医療再生計画に基づき整備した3階のポストNICU病棟をはじめ、2階外来、1階の障害者総合相談支援センター、4階に設置された「子どものこころ発達センター」も見学。伊原木知事は、療育園と児童院に分散していた機能を統合し患者の利便性が高まったという末光理事長らの説明に関心を寄せていました。

その後開催された「知事と一緒に生き活きトーク」では、発達障害のある方々のトータルライフ支援をテーマに、おかやま発達障害者支援センターの新谷義和所長をはじめ医療、福祉、教育分野などの関係者10人と意見交換。「県北と県南のサービス格差など課題も多い」「進学や就職など移行時の支援に力を入れて」「行政、教育、福祉などの分野横断的な情報の共有が重要」など多くの意見が出され、伊原木知事からは「発達障害の状態に応じていろいろな取り組みがあり得るという、明るい希望が見えた。様々な角度からの情報を皆さんで共有していただき、県もしっかり対応していきたい」旨の発言がありました。

療育・医療センター内で開催された「生き活きトーク」

障害者の作品・製品
旭川荘から街中へ次々出展

障害者らのアート作品や手づくりの製品が、街中で市民の目に触れる機会が増えてきています。旭川荘アートギャラリーでは、平成24年の岡山市デジタルミュージアムでの移動展を皮切りに、多くの方々の協力により展示の機会が広がっています。また、約1年前に発足した旭川荘の「製品販売促進プロジェクトチーム」でも、イベントなどの情報交換や販路拡大の話し合いを重ねる中で、次々と新しい場所への製品の出展が始まっています。昨秋からの主な動きを紹介します。

みずほ証券で アートギャラリー移動展

みずほ証券の道路沿い展示スペース

絵画5点と陶芸作品が並んでいます

岡山駅にほど近い、みずほ証券岡山支店（岡山市北区駅前町）で、12月15日から3月13日までアートギャラリー移動展を開催しています。これは同店の支店長から、展示スペースを少しでも障害者のために役立ててほしいと提案があり、実現したものです。

絵画を5点程度と陶芸作品を展示しており、約1カ月ごとに作品を入れ替えています。店外向けの展示スペースは、岡山市の目抜き通り「桃太郎大通り」からもよく見えます。

同店によると、お客さんからの評判は上々。絵を見ていた近所に住む女性は、「プロの画家が描いた作品かと思いました」と驚いていました。

なお、この移動展と、一昨年から行っているトマト銀行巡回展に対して、岡山県から後援をいただいています。行政からの応援メッセージとしてありがたく受け止めています。

後楽ホテルで切り絵展 せとうち旭川荘

せとうち旭川荘の利用者2人が制作した切り絵の展示会「切り絵～紙に刻む風景展～」が1月16日から30日まで後楽ホテル（岡山市北区平和町）で行われ、宿泊客や通行人の目を楽しませました。

切り絵は、地元牛窓の港や岡山城、倉敷美観地区などの風景を描いた作品が15点で、繊細で緻密に仕上げられた1点ものばかり。今回は作品の販売も行いました。

この他、牛窓の伝統芸能「唐子踊り」をモチーフに作った民芸品「唐子人形」や切り絵がデザインされたポストカードも展示・販売しました。

お客さんからも大変好評で、1月23日時点で切り絵8点は売約済み。作品を購入した方からは、「切り紙の細かい仕事に感動した」との感想も寄せられたそうです。

ロビーに並ぶ15点の切り絵

ホテル周辺の西川を描いた作品

カフェ pieniで織り工房の製品を販売

カフェの店内で品定めする客

岡山市北区出石町にあるカフェ pieni..ecole+cafeで1月10日から18日まで、愛育寮・織り工房展「祇園の杜から春一番をお届けします」を開催。カフェの利用客らがお気に入りの製品を買い求めました。

この展示会はカフェのオーナー岡野英美さんが障害者に関するイベントを通じて旭川荘の製品に関心を寄せ、自らも織り工房に見学に来るなどして開催が決まったものです。店内には、人気の結び織りマットのほか、こぎん刺繍のポーチやペンケース、手織りの手提げバッグなど50点以上が勢揃い。

昨年1月に後楽ホテルで開催した「100枚のマット展」で、結び織りマットの存在を知った女性客は「この肌触りが何とも言えない。配色も素敵で気に入りました」と喜んでいました。

展示スペースに並ぶ製品の数々

期間中には、大人向けの結び織りワークショップも織り工房で試行的に開催。織り工房とカフェ、利用者と市民との双方向の交流に端緒を開きました。

イオンモール岡山で人気 みどりワークの新聞エコバッグ

昨年12月にオープンしたイオンモール岡山（岡山市北区下石井）5階の店舗「ハレマチ特区365」で、みどりワークセンターで制作された「新聞紙エコバッグ」を販売。人気商品となっています。

繊維製品や焼き物、食品など岡山に根ざした「ものづくり」の発信拠点であるハレマチ特区には、こだわりの商品がたくさん並んでいますが、新聞紙エコバッグはその中でも引けを取りません。店のスタッフによると、「英字新聞を使っているのがオシャレ」「贈り物を入れるのにちょうどいい」と女性客を中心に人気があり、外国人からも好評とのこと。

サイズは、小・中・大・特大の4種類。特に小サイズ（50円）が人気で、みどりワークセンターは追加発注を受けて大忙しです。イオンモール岡山にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

エコバッグもきれいに陳列され、目を引きます

他の商品との「セット販売」にも活躍

「有機生活マーケットいち」に初出店

西川緑道公園（岡山市北区野田屋町・平和町）周辺で11月16日に開催された「有機生活マーケットいち」に、旭川荘が初出店。望の丘ワークセンターで作ったりんごや梨など旬の果物のほか、わかば寮のクッキーなどを販売しました。

このマーケットは、有機栽培や地産地消などこだわりの品を販売し、人と人とをつなげようとするイベントで、平成23年にスタート。当日は約40店舗が出店し、親子連れや外国人など多くの客でにぎわいました。県内産のりんごは初めてというお客さんも多く、夕方までにほぼ完売。梨を試食した女性が「みずみずしくておいしい。どこで作っているの?」と職員に尋ねるなど、交流も多いイベントでした。

旭川荘の出展ブース

りんごと梨は大人気

真庭の冬　大雪に負けず職員ら奮闘

センター前の広場を懸命に除雪する職員ら

昨年5月にオープンした旭川荘真庭地域センター。旭川荘の中では唯一雪の影響が心配されるエリアにある施設です。職員は慣れない雪に戸惑いながらも運営を続けています。現地の積雪状況や対応について、安東保夫所長に寄稿してもらいました。

「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった—」。これは、川端康成の「雪国」の一節であります。まさにこの言葉どおり、摺鉢山（すりばちやま）の長いトンネルを抜けると一面銀世界が広がります。その湯原温泉街のなかに、旭川荘真庭地域センターがあります。年末には寒波の影響から30～40cmの積雪があり、新年早々には、一夜にして40cmの積雪となりました。

当センターでは、積雪にも負けず平常どおり業務は行っているものの、送迎サービスを“売り”にしているため、少々困惑しているのも事実です。しかしながら、真庭市をはじめ新庄村の除雪体制の取り組みには、頭の下がる思いがしています。また、積雪の多い利用者のお宅では、送迎車輌がUターンする場所の除雪作業を行ってくださっています。そのおかげで職員は、道中の雪景色を楽しみながら笑顔で送迎に携わることができています。このような心遣いは、利用者にも何らかの良い影響を与えているものと感じています。

雪の降らない地域の人からは、「雪遊びができてうらやましい」という声をよく耳にします。ところが、降雪は半端なものではありません。雪の深さは、普通の長靴が埋まる程になり、送迎車輌が走行する道を除雪するのが精一杯です。積雪の朝は、旧国道を近所の皆さんとともに、一斉に声を掛け合いながら除雪します。高齢者世帯の多いなかで、ひときわ若い我々職員が、光り輝き重宝されています。率先して労働力を提供し、地域の皆さんからは、この真庭の地に伝わる遊びや行事を体験させていただきます。

昨年末には寒波の影響で30～40cmの積雪に

委員会だより

交通安全・車両委員会

交通安全・車両委員会では、職員の交通安全意識の高揚と交通事故の防止を図るとともに、公用車の適正な管理に努めています。

今年度は春と秋の「全国交通安全運動」に合わせ、4月7日と9月22日に職員の出勤時間帯に荘内の通勤路にて交通安全指導を実施。その他、施設で公用車を運転する職員を対象にした研修も行いました。

通勤路で交通指導を行う中村委員長

研修会で交通ルールを説明する茅原巡査部長

12月17日には、岡山西警察署交通企画課の茅原（かやはら）憲司巡査部長を講師に招き、自転車の交通ルールに重点を置いた研修会を開催。参加した32人の職員は、自転車事故で高額な賠償金の支払いを命じられたケース等、熱心に耳を傾けていました。

中村誠一委員長（吉備ワークホーム所長）は、「通勤や利用者の送迎では、ゆとりのある運転が必要。委員会の取り組みが事故の軽減につながれば」と話しています。

RECIPE 14

大豆入りじゃこ飯といわしのつみれ汁

丸ごと大豆で食物繊維アップ！

●大豆入りじゃこ飯

〈材料〉2合分（茶碗約4杯分）

米	2合		水	カップ2と1/2（500cc）
大豆	カップ1/4（30g）			
ちりめんじゃこ	大さじ2	☆	しょうゆ	小さじ2
にんじん	2cm	☆	酒	小さじ1
		☆	塩	小さじ1/5

栄養量：1人分
エネルギー：419kcal
たんぱく質：19g
食物繊維：3g

〈作り方〉

① 水洗いした大豆を皿に並べて、600wで3分程（豆の皮が割れて開くまで）レンジにかける。
② にんじんは千切りにする。
③ 炊飯器に洗った米を入れ、炊飯器の2合の印より少し多めに水を入れる。
④ 炒り大豆、にんじん、ちりめんじゃこを加える。
⑤ ☆の調味料を入れて軽く混ぜ、炊飯する。

●いわしのつみれ汁

〈材料〉4～5人分

いわしのすり身	1パック（200g）		大根	10cm
白ねぎ	10cm		にんじん	5cm
おろししょうが	小さじ1		ごぼう	5cm
卵	1/2個		春菊	1/2束
塩	小さじ1/2		だし汁	カップ3（600cc）
片栗粉	大さじ1		しょうゆ	大さじ2

★

〈作り方〉

① ごぼうはささがきにする。大根、にんじん、春菊は食べやすい大きさに切る。
② いわしのすり身にみじん切りした白ねぎと★を加えて、よく混ぜ合わせる。
③ 鍋にだし汁を入れ、野菜を煮る。
④ ①をスプーンですくって団子にし、煮汁に落とす。
⑤ 少し煮込んだ後、しょうゆで味付けし、春菊を散らす。

節分にちなみ、大豆を使った炊き込みご飯といわしのつみれ汁をご紹介。大豆はたんぱく質を多く含み「畑のお肉」と呼ばれますが、実は食物繊維も豊富で、煮豆や炒り豆のように粒ごと食べるのがおすすめです。いわしは動脈硬化予防の効果のあるDHA（ドコサヘキサエン酸）やEPA（イコサペンタエン酸）を含み、カルシウムも摂ることができます。（フーズセンター　山口倫子）

ワン ONE POINT ポイント

食物繊維は生活習慣病の予防に役立ちます。
つみれ汁はみそ味にしても美味しくいただけます。

療育アカデミー特別講座「高次脳機能障害者の日常生活を支援するために」

旭川荘療育アカデミーでは2月21日に、高次脳機能障害をテーマにした特別講座を開催します。長年にわたり名古屋市総合リハビリテーションセンターで高次脳機能障害者の支援に従事してきた阿部順子岐阜医療科学大学教授が、日常生活上の困難、在宅ケアのニーズ、家族の介護負担感、新たな支援方法としての生活版ジョブコーチなどについて紹介。旭川荘や川崎医科大学附属病院のスタッフが、高次脳機能障害の基礎知識について説明します。

日時：2015年2月21日（土）10:30～15:30
場所：旭川荘研修センターよしい川（岡山市東区西大寺浜）
参加費：1500円
定員：50人
問い合わせ：旭川荘療育アカデミー事務局 086-275-0011

バスガイドさん療育園を慰問

新人バスガイドさんが披露したうらじゃ踊り

両備バスの新人バスガイドさん4人がクリスマスイブの12月24日、旭川療育園を慰問。子どもたち約60人に寸劇と踊りを披露しました。

慰問は新人研修の一環として長年にわたって行われており、今回で51回目。桃太郎の登場人物になりきったガイドさんが、迫力ある演技を見せると子どもたちは大笑い。続いてオリジナルのうらじゃが披露されたあと、「うらじゃ音頭」の曲がかかるとみんなで元気良く踊って盛り上がりました。

最後は参加者全員にお菓子のプレゼント。受け取った子どもたちは笑顔を見せて大満足でした。

わかば青年寮でミニコンサート

ひまわり音楽教室（岡山市北区津島東）の講師10人によるミニコンサートが12月24日、わかば青年寮で行われ、利用者や職員約30人が生の楽器演奏を楽しみました。

コンサートは、わかば青年寮の「クリスマス・忘年会」に合わせて初めて開催。定番の「ジングルベル」に続き「青い山脈」や「ふるさと」など、全部で10曲を披露。利用者も鈴を鳴らして一緒に歌ったり、笑顔で体を動かしたりして演奏を満喫しました。

サンタの衣装で演奏するひまわり音楽教室の講師ら

アートギャラリー常設展2015（春）

第5回特別展に応募のあった作品344点の中から、特別展で受賞した作品16点と、入選作品36点を合わせた計52点を展示します。

日時：2015年3月2日（月）～5月22日（金）
場所：旭川荘アートギャラリー
問い合わせ：086-275-4647（旭川学園）
開館時間：午前9時～午後4時
休館日：土曜・日曜・祝日

※入館無料でご覧いただけます

カバヤのキャラクター クリスマスに来荘

カバヤ食品のPR活動を行うカバ車「クッキーくん」が12月25日、旭川療育園を訪問。パンダのキャラクター「さくぱん」も登場し、子どもたちを楽しませました。

訪問は平成23年のクリスマスにスタートし、今回で4回目。この日はお菓子やおもちゃなど“クリスマスプレゼント”も配られ、子どもたちは皆大喜びしていました。

カバ車は続いて、荘内の南地区を初めて訪問。わかば青年寮の利用者は「クッキーくん」の動く目や耳にびっくり。その後、一緒に記念写真を撮るなど、しばしの触れ合いを楽しみました。

「クッキーくん」と「さくぱん」の登場に喜ぶ療育園の子どもたち

旭川荘ごよみ SCHEDULE CALENDAR

2月

1日 療育・医療センター竣工式 ……旭川荘療育・医療センター
14日 療育発表会 ……みどり学園
第5回医療シンポジウム ……北宇和病院
19日 卒業演奏会（百花プラザ） ……旭川荘厚生専門学院
25日 成人を祝う会 ……南愛媛療育センター

開催中 旭川荘アートギャラリー第5回特別展（～2月20日）
☆ 節分行事 ～各施設

3月

5日 第43回卒業証書授与式……旭川荘厚生専門学院
12日 第32回つばさコンサート ……旭川児童院
15日 創立60周年記念オペラ
（岡山シンフォニーホール） ……旭川荘
19日 旭川荘評議員会・理事会 ……旭川荘
25日 芸術祭表彰式 ……いづみ寮

☆ ひな祭り行事
卒業・卒園行事
} 各施設

編集後記

旭川荘真庭地域センターに勤務して1年が経過します。6面の記事の通り、冬場は雪に悩まされています。本当に切実ですが、安全な送迎サービス・雪かきを日常業務として、日々、取り組んでいます。開所時の思いや志を忘れることなく、真庭地域でしっかりと役割・機能を果たして飛躍の年にしていけるよう努めていきます。そして本紙に真庭の話題を積極的にお届けできるよう、事業内容も豊富にしていきたいと思います。

（広報委員　須田篤人）